

大林議長の不信任案提案の理由について申し上げます。

議会の代表である議長は、議員の信任を得て議長となったわけです。

その議長を支え、町民の信頼に応えるべき議会をつくり上げることは、私ども議員の責任でもあります。しかし、その前提は議長みずから町民や議員を信頼させる資質なり、行動があって初めて成り立つものだと思います。今回、我々の代表である議長の不信任案を提案することは、議会を構成する一人として断腸の思いであります。しかし、大林議長のこの2年間の言動に対して、町民より不信の声が上がり、特に昨今はあからさまにその声を聞くようになりました。

このままではいけない、現況を打開しなければ議会の自浄力を示さなければ、その強い思いの結果、議長不信任案

を提案することといたしました。その点をまず申し上げ、御理解をいただきたいと存じます。

さて、皆さん、この機会にもう一度しっかり考えてみてください。

御承知のとおり、地方自治の運営は、首長と議会という二元代表制にて運営されます。言いかえれば、町の顔、代表は町長であり、議会を代表する議長であります。このような立場の議長には、当然求められる議長像があります。志免町の政治倫理に関する条例で、「議員は町民全体の奉仕者として、その人格と倫理の向上に努める。また、町民全体の代表者として、その品位と名誉を損なうような一切の行為を慎む」とあります。

議会そして議員の代表であり、町民の代表である議長は、これらのことを誰よりも強く自覚し、普段から研さんに努め、その言動は威厳を持ちつつも町民、そして議員の模範となり広く尊敬を得るよう行動をしなければなりません。

またその職は、ただ単に庁舎4階の議会棟内だけの代表者でなく、町内外に対しても、議長そのものの姿が志免町民を代表する姿、評価となるわけです。そして、具体的行動は、議会運営を円滑に取り仕切ること以外にも、町内外の行事や会合へは自ら積極的に参加し、挨拶をし、親交を深め、志免町議会の評価を得る。これが議

議会あれこれ

動議

議長不信任案 否決

提出者 古庄議員・動議賛成者 大西議員

採決結果(無記名投票)賛成少数で否決
(賛成5人 反対7人)

議長は議会の代表として、その品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、議員の模範となり広く尊敬を得る行動をすべきである。指摘したい事が多岐にわたるので次の6点にまとめる。

- ① 行財政改革を行政が進める中に、車借り上げ料が増。
- ② 各町内会で開催される行事に議長交際費から寸志を出している(申し出の5町内のみ)
- ③ 町の行事、学校、各団体行事への欠席が多い。
- ④ 全国議長会研修会や総会、視察は車椅子、近場もタクシーに乗車する。視察先では視察もせず懇親会には参加する。
- ⑤ 1市7町議長会の理事が持ち回りで当番となるが、要職につくことに憂慮する。
- ⑥ 議長室に町の工事関係者が出入りするなど倫理観のなさ。

など議会の代表者として不適任。

長像であり、議長職です。

そのために、議員の中でも最高の給与が与えられているわけであります。しかし、大林議長就任後 2 年間の行動を振り返ってみますと、先ほどから申し上げました志免町民を代表する議長の姿としては、甚だ恥ずかしい限りであります。その理由として、議会運営ほか、指摘したいことは多岐にわたってありますが、今回は時間の関係で、6 点について申し上げます。なお、不信任案という大変重大な提案ですので、丁寧に事例を紹介するため、少し長くなりますことをお許してください。

まず第 1 は、志免町が推し進める行財政改革、無駄遣いを肅正することに逆らうような言動、姿勢について指摘をいたします。

私は議長時代、行政の推し進める行財政改革に議会としてもやれることをやらなければとの思いから、議員定数や委員会視察の削減ほか、議会費の削減に取り組んでまいりました。そして、その一つが、昨年決算審査でも指摘いたしましたが、車借り上げ料、つまり議長権限のタクシー代であります。わずかな金額ですが、まさにこのことへの対応が、議長としての無駄遣いへの考え方のバロメーターだと思っております。

私が議長のと看、最後の 22 年度は、4 年をかけて年間 19 万 2,000 円と、それまでの大林議長の 3 分の 1 まで削減をいたしました。今よりも議員数が多かったのですが、それでも十分やれたのです。しかし、再度、大林議長になりますと、昨年 23 年度の実績は、倍以上の 41 万 2,000 円となり、予算 30 万円も大きく上回る結果となりました。このことを決算審査で指摘しましたが、改善されるどころか今年度も同じく 30 万円の予算を上回っております。

何に使われているのでしょうか。大林議長と他の町の議長とのやりとりでは、大林議長は増額になった理由を、「議員が視察や研修に行くときにタクシー代を出してやるので増えた。自家用車では事故があったら問題」との指摘を述べ、これに対して他町の議長は、「それは違ふ、費用弁償や政務調査費があるではないか。まして、個人としての研修参加なら自家用車で行くべき、志免町はおかしい」と返答したと伺いました。

議員の皆さん、そんなに視察研修に行くのにタクシーを使用したのですか。視察研修がそんなにあるわけもなく、そのような理由が通るわけありません。そして、来年 25 年度、今審議をいたしておりますが、何と 10 万円のアップの 40 万円の予算を計上されております。決算議会の指摘後、私は改善されることを期待いたしましたが、このようなことではタクシー代の詳細な用途について何らかの形で調査なりがなされるのではないかと危惧をいたしております。

次に、各町内会で開催される夏祭りや敬老会について、指摘をいたします。以前は議長宛に案内状が来れば、5,000 円の寸志を議長交際費から出していました

が、私のおとき、町内会も町の補助金を受給している対象であり、これは補助金の二重払いとなるわけで、町長も、出席をしても寸志も出しておらず、議会も出せない旨、議員に説明し、町内会会長会で申し上げ、中止いたしました。しかし、大林議長になり、町内会会長会にも議会の私たちにも何の説明もなく独断で寸志を復活し、出しています。昨年、寸志を受け取った町内会は、30 町内会中、夏祭り、敬老会それぞれわずか 5 町内会だけです。

出すことも問題ですが、議長に案内状を持ってこない町内会には寸志を出さない、この行為も大変問題であります。このことを知らない町内会や、行事をやっていない町内会に何と説明できますか。補助金との関係も含め、不公平きわまりない行為であります。議長交際費も税金です。町長交際費の考え方とどこが違うのですか。新人議員の国会視察研修費の計上の仕方も、余りにも横暴でしたが、いずれにしても、議長の経費に対する考え方なり、使い方には大変異議を感じます。これぐらい良いじゃないかの考え方が支配をしている今の議会であります。今般、志免町の下水道料金の未徴収問題で町長が責任をとり、本議会で減給の条例提案がなされ、私たちが審議をいたします。

また、職員についてもどう対処するか検討されています。総務文教委員会でも厳しく糾弾していましたが、今の議会は行政には厳しく、みずからには甘い。自戒の姿も、厳格性もない議会となったようであります。

職員は心の中で笑っていますよ。このようなことで、この予算議会でも議会は威厳を持って行政と相対峙し、審査できますか。

次に、大林議長の行動について、指摘をいたします。

冒頭申し上げましたように、議長は議会の代表であり、志免町の内、そして外に對して町の顔であります。しかし、その議長のこの 2 年間の行動はどうであったか。私の議長のおときは、年間 200 日以上、公務ほか志免町にかかわる何らかの活動をいたしておりました。そして、町の公式行事は当然、その他からも参加要請があれば公務とダブらない限り出席し、挨拶の要請があれば行っておりました。どうしても行けないときは大西副議長に代役をお願いしましたが、数えるほどもありませんでした。これは、議会を代表する議長としての大きな務め、責務であります。

しかし、大林議長はどうでしょうか。出席と挨拶は議長より副議長のほうが多いのではと感じるほどであります。

私を知り得る 23 年の議長のお欠席した主なものだけでも、商工会賀詞交換会、消防団交代式、老人クラブ連合会大会、シルバー人材センター総会、食改善推進総会、消防ポンプ操法大会、戦没者追悼式、そして何と、多くの町民が参集する志免町最大のイベントである町民大運動会まで欠席をされました。信じられません。

また、町内会長会歓送迎会には、総務文教委員長ほか、適任者がいるにもかかわ

らず、独断で新人議員に代理出席をさせ、その他、各学校、各団体行事への欠席や代理出席は目に余るものでした。

24年度になっても大きく改善はされていません。そして、これらの中で目に余るものは、まず老人クラブ連合会大会、2年続いて欠席、特に一昨年は議会中だからと主催者へ言って欠席。しかし、所管の委員長は壇上に座り、我々議員も参列しており、議会中との理由に叱責を受けました。また、毎年開催されている糟屋地区体育大会では、開会式後に町長、教育長ほか、関係者は各会場を回り、選手を激励するのですが、大林議長だけはそれに同行しながら、車から一步もおりずに車内にいたきり。厳しい夏の炎天下での応援、みんなが大変な思いをしているとき、議会を代表する議長はクーラーのきいた車の中。この姿を、一緒に回った皆さんが見たとき、どう感じられますか。「何をしに来ているのか」と叱責の声が上がるのは当然であります。また、23年9月18日に開催された第54回県民体育大会のパレーボール競技が志免町で開催され、議長は大会役員の顧問に名を連ね、案内も受け、来賓席にも席をもうけられているのに欠席をされました。副議長ほか代理出席もなく、町長、副町長は参列をしておりました。私も応援に参りました。また、糟屋地区、宗像市、福津市をエリアとして毎年持ち回りで開催されている、ふくおか県民文化祭、芸術文化のつどいが、昨年は志免町の当番として11月25日に町民センター大ホールで多くの皆さんが参集され開催されましたが、各市町の首長を始め、各町議会の議長も壇上に参列して紹介を受けているのに、開催地元の議長は姿も見せない。副議長も議長の欠席を知らずに客席にいる。参加していた他町の議長、議員から、「どうなっているのだ志免町は」と叱責を受けました。特にこの集いには、冒頭のセレモニーコーラスに、志免の議員が地元開催に華を添えようと多数出演しており、慰労しなければならないのに、何と他町の議長が声援をしておりました。

次に、志免町の安全・安心を一手に担っている消防団の消防ポンプ操法大会、23年は欠席、24年は参加されましたが、何と途中で挨拶文を副議長に託し、会場を去るという前代未聞の行動に出られ、消防関係者から2年続いての議長の行動、そしてこれも消防団の公式行事である消防団交代式も2年連続欠席をし、とうとうOBからも「堪忍袋の緒が切れた」と叱責の声が上がっておりました。

そして、今年の1月13日の消防出初め式の出来事です。これは本当に屈辱的な出来事でした。特に、今年は南部消防との合同出初め式です。議長が欠席で副議長が挨拶をしましたが、その中で「議長体調不良のため欠席」と述べられたとき、私は唾然といたしました。それは、来賓席の中から叱責と苦笑いが上がり、「議長はいいかげんにやめんか」との大きな声が発せられ、後ろの席からは、「式があるのはわかっている、体調も整え切らんとは、はってでも出てくるべきだ」との声が上がったとき、私は議会の一員として、本当に恥ずかしい、惨めな思いにかられました。

これは、先ほどから申し上げている 2 年間の議長の行動、来賓の方々、特に公式行事の多くに参列されている町内会会長の皆さんはよく知っておられ、議会や議長への積もり積もった不信の結果、ついに発せられた声であります。議会を代表する議長がこのような姿勢ですので、昨今の行事への議員の出席参加が非常に希薄になっていることへの批判の声でもあります。一度や二度の欠席でこのような声が、それも公の場で発せられるわけがありません。議会、そして議長への不信の声が頂点となった結果であります。

そして、直近では先月 17 日の志免あおぞら保育園落成式の欠席、副議長が急遽挨拶をされました。

挙げれば切りがありません。しかし、これらは志免町内の問題であります。これからは志免町外の問題を指摘いたします。

古賀、糟屋郡の議長会では、全国議長会研修会や総会、そして視察等に行きますが、全国議長会研修での上京で、随行する郡の事務局職員は 1 人ですが、大林議長は体調が悪いとはいえ、空港ほかを車椅子で移動し、近場でもタクシーに乗車する、そのため随行していた事務局職員は、志免の議長につきっきりで世話をすることとなり、他の議長は強い不快感を抱き、このような状態にもかかわらず懇親会は参加する。これからの上京視察時には、「志免町から大林議長専属の随行員を出すべきだ」との声も受けました。このことを知った大林議長は、ある議長に強くクレームを言い、近隣他町の議長からは「志免の議長は怖い、何も言えん」との声も聞きました。広域的地方自治運営が大変大事な昨今、対外的に町の顔としての議長のあるべき姿でしょうか。これが何を意味するか、皆さんにはおわかりいただけると思います。そして、私が最も啞然といたしましたことは、過去志免町議会内でも大林議員が所属していた委員会視察で、「バスをおりずにテレビを見ていた」との報告もありましたが、何と福岡市議会を初め、福岡都市圏の議長全員で毎年視察研修が開催されますが、昨年このバス、この視察先で、議長はただ 1 人、バスをおりずに、つまり視察をせずバスにいたと、そして、懇親会には参加。この姿を見て、古賀、糟屋郡だけでなく、何と他の地区の議長からも叱責の声が上がり、中には「町の恥だ、来なければよいのに」との声も聞かれました。志免町民を代表して福岡都市圏の議長と相対峙するのに、このような声を聞くことは、本当に議員の一員、そして町民の一人として看過できません。これらはあえて、どこの議長のコメントか申し上げませんが、随行した議会事務局員も周知の事実ですし、何といても議長本人が一番よくわかっている事実であります。そして、私が知り得る限りでは、糟屋郡の 1 市 7 町の議長で構成する糟屋地区議長会の会長は、持ち回りで来月 4 月から 2 年間志免町の議長の番であります。このことは恐らく福岡県の町村議長会の理事に就任することとなり、県町村議長会の副会長等の要職につく可能性もあるわけです。

今度は志免町の代表だけでなく、糟屋郡 7 町の代表にもなるわけです。私はこのことも大変憂慮する問題であり、皆さんにもお考えをいただきたい。

そして、最後に議長の倫理観のなさについて指摘をしたいと存じます。

私は、議長室に町の工事事業を請け負う企業の代表者が頻繁に、それも堂々と出入りすることに大変違和感を持っておりましたが、先週、業務終了直後の庁舎裏の出入り口、ここには多くの町民や職員が出入りするところではありますが、私そして町長や教育長、職員や町民が歓談をしている前で、議長が車を待っておりました。そこに黒の高級乗用車が横づけされました。何と町の公共事業を受ける業者の代表者が運転する車で、これに、我々や町長、職員、町民の前で堂々と後部座席に座り、走り去りました。町民の車に乗ることが悪いこととは申しませんが、しかし冒頭申しましたように、少なくとも町民を代表する立場、そして行政をチェックする議会の代表の議長として、倫理的にあってはならない行動であります。みんなの前で平然と、それも堂々とこのようなことが行われる、この光景に私は恐怖心さえ覚えました。こんなことではいけません。

今回の不信任案提案は、私は本当に勇気を持って提案をいたしました。このことで、これから先の議会活動でどんな妨害や、もっと言えば私の生活面でも危険にさらされるかもしれません。しかし、町民の負託を受けた議会人として是々非々、おかしいことはおかしいと堂々と声を上げなければ、これからの志免町そして議会は大変なことになるとの危機感からの提案であります。

全国的な議会改革の中でおわかりのように、これからの議会は本当に信頼される議会に改革していかなければなりません。当然ながら、その代表である議長は、リーダーとしての資質を磨き、強い倫理観を持って全ての規範とならなければなりません。その観点からしても大林議長は、これまで申し上げましたように、我々が議会の代表者として、甚だ不適任と申し上げねばなりません。

今日、指摘をしたようなことを「いいじゃないかそれぐらい」そんな議長でも志免町民そして議会の代表として認めると容認される議員は、この不信任案に堂々と反対してください。そして、議会広報ほかを通し、町民の皆さんにしっかりと賛否の議員の姿を明らかにし、その姿勢に対する声を聞けばよいのです。また、他の市町村議会はこの結果に注目しています。もしこの不信任案が否決されれば、志免町議会の評価はさらに下がり、これからの議会、そして議長の行動、あるべき姿はこれでもよいのだとの前例を示すこととなります。それをよしとする議員は、私は一人もおられないと信じております。また、信じたい気持ちでいっぱいです。

御高齢で健康面もすぐれない議長です。これからの議長職の激務に耐えられるか大変心配をいたしております。御本人のためにも、みずから英断を下し、議長を辞任されることを強く求め、良識ある町民から信頼される議会の構築のためにも、皆

さんの御理解と御英断をもって議長不信任案に賛成いただきますことを心からお願いをして、提出理由といたします。よろしくお願いいたします。